

「平成23年度かがわ生涯スポーツフォーラム」が開催されました

子どもから高齢者まで誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブを推進していくため、「平成23年度かがわ生涯スポーツフォーラム」が12月18日(日) 三木町文化交流プラザで開催されました。

県内の総合型地域スポーツクラブ関係者をはじめスポーツ推進委員や一般の参加者約250名が集まり、盛大な会となりました。

○ 開会行事



細松県教育委員会教育長挨拶

県教育委員会細松教育長は、「現代社会においては、ライフスタイルの変化により、毎日の生活の中で体を動かすことが少なくなっていることもあって、健康に関する関心はますます高まっている。すべての人が意識しながらそれぞれの楽しみ方で、スポーツを継続できる“生涯スポーツ社会”の実現が社会課題となっている。」との挨拶でフォーラムが開会されました。

○ 講演

なでしこジャパン ゴールキーパーコーチ 前田信弘氏（丸亀市出身）から、「なでしこ JAPAN 世界一への軌跡」と題して、日本中の話題をさらい、国民に今年一番の感動を与えた、なでしこ JAPAN の活躍の裏に隠された秘密を教えてくださいました。また、「する・みる・ささえる（育てる）スポーツ」の魅力や、生涯スポーツの重要性、地域においてスポーツ環境を整えることの大切さをご自身の経験を交え語っていただきました。



なでしこジャパン ゴールキーパーコーチ
前田信弘氏

○ シンポジウム

「スポーツを“サポート”する」～地域のためにできること～ と題し、現在、文部科学省委託「スポーツコミュニティの形成促進」事業のプロジェクトリーダーを務める南木恵一氏をコーディネーターにお迎えし、シンポジウムを行いました。

シンポジストとして、カマタマーレ讃岐代表取締役社長であり、また、日本体育協会日本スポーツ少年団副本部長としてもご活躍中の住谷幸伸氏、『むれスポーツクラブ』クラブマネジャー兼事務局長の落合賢氏、『ふれあい一番地』クラブマネジャーの與田康子氏が参加され、スポーツを支えることの意義や課題、今後の夢について意見が交わされました。

住谷氏は「若い人が燃えるものをつくりたい、地域ににぎわいや元気を与えたいとの思いから『カマタマーレ讃岐』をつくった。また、サッカーだけでなく多くの人々が様々なスポーツに触れることができる「スポーツ文化」を根付かせたい。」

落合氏は「高松市と牟礼町の合併にともない設立された『むれスポーツクラブ』は、t o t o助成を活用しながら、地域の人にもっと参加してもらえるようなクラブづくりを目指している。将来的にはクラブが地域の雇用の場となれば良いと考えている。」

與田氏は「小学校とも連携しているため約7割の地域住民には認知していただいていると思う。今後は地域になくてはならないクラブに育てていきたい。また下笠居に「ふれあい二番地、三番地」ができ、互いに連携をはかれるよう願っている。」

とそれぞれの思いを語っていただきました。

また、南木コーディネーターは、「10年前に小学生でクラブに入った子どもも、高校生、大学生になりアスリートとして、活躍するようになる。そうした人材をクラブで受け入れるのが「好循環」であり、今後クラブが目指すべき方向である。また、50年ぶりに成立した、スポーツ基本法では、「スポーツ文化」の確立のためには地域の人材の連携、協働が必要とされており、スポーツ推進委員など地域のコーディネーターへの期待が高まっている」とまとめられました。



○ 県内総合型クラブ教室体験

I ダンス 田中桃子 (NPO 法人 ELF 丸亀)

田中先生は中高生・大学生・社会人のダンスサークルを立ち上げたダンス大好き人間、多数のイベントにも出演しています。



座ったままでも、高齢者でも気軽にできるヒップホップダンスをレクチャーしていただきました。

軽快な音楽にあわせ、参加者のみなさんも、すっかりダンサー気分です。



II カンフー&呼吸法 金森庸二 (とらまるクラブ "ONLY ONE")

とらまるクラブ"ONLY ONE"でカンフー教室を持つ金森先生は、日本中華武術協会理事でもあります。



子どもたちのかわいらしい演技、扇子や剣を使った大人の躍動感あふれる演舞を見せていただきました。

また、カンフーの後には、こころと体を整える呼吸法ですっきりした気分になりました。

